



# 4年ぶりの春節を祝う会



2020年以来のコロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされていた春節を祝う会が、2月10日(土)湘南台公民館ホールにおいて4年ぶりに開催されました。今回は日中市民60人が参加し、和気あいあいの春節に相応しい賑わいとなりました。調理室では参加者が小麦粉を練って餃子の皮を作り、豚肉・白菜・ニラを具に美味しい餃子を作りました。他にも春巻、胡麻団子、月餅、粽、中華サラダ、杏仁豆腐など盛りだくさんの料理がテーブルに並べられ、春節の会を満喫されたことと思います。

余興タイムでは、伊藤志津子理事による中国古箏の演奏や初参加の蔡さんのカラオケも披露されました。さらに恒例のビンゴ大会も行われ、番号を読み上げる度に一喜一憂の声飛び交い会場は大いに盛り上がりました。ご多忙のスケジュールの中、鈴木市長も会場に駆けつけてご挨拶され、しばし参加者と懇談されました。

終了後の後片付けも全員が協力し、短時間で終わらせることができました。ご協力を頂いた藤沢市人権男女共同平和国際課の皆さま、また準備段階から積極的に役割を担っていただいた役員、会員の皆さまに心からお礼申し上げます。



皆で協力して美味しい餃子の皮づくり



鈴木市長も駆けつけ参加者と交歓

## 中国語スピーチコンテスト開催へ



第3回湘南中国語スピーチコンテストがいよいよ3月10日(日)午後1時からFプレイスにおいて開催されます。

このスピーチコンテストは藤沢市内の大学や高校などで中国語を学んでいる学生や生徒が日頃の学習成果を披露する場であり、隣国である中国の言語や文化に親しむことにより友好関係を築いていくことにも繋がります。

会員皆さまのご来場をお待ちしております。

## 中国古箏の演奏



さきの春節を祝う会では、伊藤志津子理事による中国古箏の演奏が披露されました。伊藤さんは2001年から古箏の演奏に取り組み、コンクールにも出場して数々の賞を受賞されています。今回は箏の名曲から「漁舟唱晩」と「山丹丹開花紅艷艷」の2曲を演奏していただきましたが、中国伝統文化の一つである古箏の音色は哀愁のこもった調べで人の心を打ちます。

## 鈴木市長が4選果たす



2月18日に投開票された藤沢市長選挙において、当協会の前会長で顧問でもある鈴木恒夫氏が4選を果たしました。鈴木市長は「誰一人取り残さないまち」を公約に掲げ、子育て支援策では小学校給食の無償化や小児医療費助成の高校生までの引き上げなどを提示しています。まちづくりでは村岡新駅周辺地区や健康と文化の森地区など都市拠点の整備を進めるとしています。また友好都市である中国昆明市との交流事業を積極的にすすめてきた実績も踏まえ、今後も両市の市民交流や青少年交流事業に大いに力を傾注されることを期待しております。

《訃報》元神奈川県会議員で、湘南日中友好協会会長、聶耳記念碑保存会会長などを歴任された榊居祐三氏が1月23日逝去されました(享年89歳)。謹んで哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈りいたします。

**事務局から** 今年は新年から様々な行事が目白押しで休む間もありません。何とかコロナにもインフルエンザにも罹らないのが救いです。春節を祝う会は湘南台公民館をはじめて使いましたが、とても使い勝手がよいので来年以降もここにしたいと思います。3月の中国語スピーチコンテスト、4月の彩雲基金日本語スピーチコンテストと大きな行事が続きますが、よろしくご協力のほどお願いいたします(上野)